

各会議等の実施状況報告について

提出日 令和7年9月29日

担当課 図書館

会議名称 第2回湖西市子ども読書活動推進計画策定委員会

開催日時 令和 7 年 8 月 29 日 (金) 15 時 00 分 ~ 15 時 50 分

開催会場 湖西市立中央図書館 学習研修室

会議内容

1 委員長あいさつ

2 協議事項

(1) 施策の方向と取り組みについて

第1章 基本方針

第2章 第3次計画における取り組みの成果と課題
質問・意見なし

第3章 第4次計画の具体的な取り組み

委員 第3次計画から第4次計画の中で力を入れたいものは

事務局 「1 家庭における子ども読書活動の推進」について

「家読」の強化。親子だけでなく、家族、祖父母を交えて同じ空間、時間を楽しみながら過ごすことで、読書の楽しさを体験してもらい、図書館への関心やイベント、おはなし会への参加に繋げることを目指していきたい。

委員 子どもが小学校の時に、親子で同じ本を読んで感想文を出す宿題があった(新居小)。同じ本を読んで感想を言い合うことはないため、良い経験だった。家読をきっかけに、このような活動ができるとうい。

事務局 「2 地域における子ども読書活動の推進」について

新たに子育て支援センターを開設した。センターでの絵本の読み聞かせの強化を継続的に行っていきたい。

委員 子育て支援センターと図書館の連携を図っていきたい。入り口付近に絵本を置いておくと、よく読んでくれている。親御さんも手が離せる時に興味を持って読んでもらえるような本を置くとよい。

事務局 現在、国際交流協会や湖西病院健診センター等に貸出期間を1ヶ月として団体貸出を行っている。子育て支援センターにも団体貸出を行うことが可能。

事務局 「3 幼稚園・保育園・こども園における子ども読書活動の推進」について

乳幼児が絵本に親しむ活動の推進、年齢や発達に合わせて図書館で絵本の読み聞かせや、出前おはなし会を継続して行う。

委員 子ども達は、新しい本は読むが古い本はあまり読まない傾向。子ども達が普段読まないような本を読み聞かせするように教諭に呼び掛けている。教諭が読み聞かせをすると、子ども達は本に興味を持つことが多い。

昨年、図書館での読み聞かせや図書館見学が実現できずに残念だった。出前おはなし会は知らなかったもので、今後は是非活用したい。

事務局 「4 学校における子ども読書活動の推進」について

全校一斉の読書活動(朝読書)と、読書週間のイベントなど生徒が主体的に活動して読書への関心を深めることを推進していきたい。

委員 小学校の図書館ボランティアを行っていた際に気づいたことは、新刊コーナーの本は多くの子ども達に読まれているようだったが、それ以外の古い本は読まれていないようだった。図書室には多くの良い本があるので、古い本も読んでもらえるようになるとよい。

委員 推進目標全校一斉の読書100%とあるが、図書館からのアプローチはあるか

事務局 目標が達成されるよう、また、生徒が主体的に活動を推進できるように毎年伝えていきたい。

各会議等の実施状況報告について

提出日 令和7年9月29日

担当課 図書館

事務局 「5 図書館における子ども読書活動の推進」について
図書館離れが進んでいるため、SNS等でイベント(おはなし会等)の周知を強化したい。またブックスタートブック配付率80%の達成を目指す。

委員 ブックスタートの外国籍の受取割合は

事務局 対象月の1ヶ月前に優しい日本語(ふりがな入り)、および動画での説明用の二次元コードを付けたブックスタートの通知を送っているが、ほとんど来ない。なかなか参加が見込めないため、今後通知内容等の見直しが必要。

委員 湖西市のLINEで、毎週のように図書館の情報が配信されており、図書館の読書活動の工夫や発信力アップを感じている。まだLINE登録していないという方へは啓発も必要では。
子どもたちにとって、先生の存在は大きく先生の言葉はよく響く。子どもたちへの声かけを先生方に協力してもらうことも1つの方法では。電子機器から離れた時間を作り、本を読むことで心のゆとり、癒しをイメージして伝えていく方法を工夫していけるとよい。

その他

委員 図書館の本はどのように選書しているのか。本屋は売れ筋や、映画化した本などを入れていると思うが。

事務局 個人の偏りがないように、職員全員で選んでいる。また、利用者からのリクエスト本もある。その際には、図書館に適切な本かどうかを選書会議にかけている。また、児童の絵本は、主に長く受継がれているものなどを入れている。

委員 時間がないときに、本を選ぶのが難しいため、探し方の説明など作るとよい。
図書館員のオススメ本の紹介や、子ども園の方が選んだ本を並べるのはどうか。マンネリ化させないことが大事。

(2) 今後のスケジュール

第3回策定委員会で原案の確認を行う。